

第2回創造性教育研究会 in Shizuoka

- ・下の「問題」について、「学びと創りの心理学」の第一章「学びと創り」の内容をふまえて、意見交換と議論をした。

=====
問題:

もし明治の初めに、科学・技術が西欧から輸入されなかったとしたら、今日の日本の繁栄はあり得たか？ すなわち、日本人の価値観、人間観、自然観の中に、新たに科学・技術を「創出」する動機が含まれているか？

=====
*残念ながら、「学び」を強調する日本人の価値観、人間観、自然観や教育の中には、科学技術を創出し、牽引している西欧型の「創り」は弱い。

学びと創りの特徴として以下があげられる（学びと創りの心理学第一章参照されたい）

表1.1 学びと創りの特徴

	学び	創り
①学問・科学技術創出	内包しない	内包する
②学習の効率	高い	低い
③教材の真偽	全て真	真偽の判断必要
④知識の範囲	狭い	広い
⑤知識の忘却	起きやすい	起きにくい
⑥学習に対する責任	低または中	高い
⑦知識に対する自信	低い	高い
⑧自己の関わり	低い	高い
⑨議論の有無	無	有
⑩議論に使える知識	あまり使えない	使える
⑪創造性の伸張	期待できない	期待できる
⑫場の雰囲気	厳粛	自由・のびやか

